

議事概要

1. 日 時 令和3年11月25日(木) 10時00分～12時00分
2. 場 所 札幌第1合同庁舎 10階1, 2号会議室
(札幌市北区北8条西2丁目)

3. 出席者

[委員長]

高橋 清 北見工業大学 教授

[委員]

岡田 美弥子 北海道大学大学院 教授

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

岸 邦宏 北海道大学大学院 教授

久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭

島本 和明 日本医療大学 総長

菅井 貴子 気象防災キャスター

4. 議 事

- (1) 計画段階評価について 日高自動車道 静内～三石 第3回目

【委員からの主な意見】

- ・この地域で第3次医療機関は苫小牧市にしか存在せず、苫小牧市への通院ニーズが高い地域。第2次医療機関のある浦河町から札幌市や苫小牧市に搬送していることから、浦河町までの早期整備が必要。
- ・利用者の利便性を考え、市街地から円滑にアクセス出来るICの配置は重要。
- ・道路の整備を進めることも重要だが、道路を整備した後にどのように道路を使っていくかという観点も重要。地域計画と連携して、将来の道路の使われ方を検討すべき。
- ・将来の道路ユーザーである若年世代の声も拾えるような工夫や道路の効果を知ってもらうような教育も重要。
- ・休憩施設について、IC近隣の道の駅に案内誘導しているが、海外事例等も参考に民間企業とも連携して、今後のサービスレベル向上も考えていくべき。
- ・大型車が多い路線であるため、重大事故発生時の被害軽減の観点からワイヤロープの整備が有用。

【委員長による総括】

- ・対応方針(案)については、【案①】別線・市街地アクセスルートで了承。

(2) 計画段階評価について

- ・北海道横断自動車道 女満別空港～網走 第1回目
- ・北海道横断自動車道 蘭越～倶知安 第1回目

【委員からの主な意見】

- ・新規事業化後に事業費不足とならないよう、計画段階評価時から適切にリスク等も勘案し事業費を計上していくことが重要。
- ・アンケートについて、分かりやすい表現とすることが重要。特に、蘭越～倶知安は外国からの方が多地域であり、外国人居住者への地域意見聴取方法について検討すべき。
- ・道路の走行性が良い別線となることで、現道のスタックや事故対応等の道路管理上のコストが減少するといったメリットもあり、観点として重要。
- ・ネットワーク全体として考えることが重要であり、北海道の広さを考えれば、もっと長い延長での計画段階評価区間とすべき。

【委員長による総括】

- ・頂いた意見を踏まえたうえで地域意見聴取を進めていただきたい。

以 上